

2016年4月研究会（中部地区）

日 時：2016年4月14日（木曜）18:00～19:30

会 場：名古屋商科大学名古屋キャンパス 丸の内タワー11階

報告者：山田 幹夫氏（甘強酒造株式会社 代表取締役社長）

テーマ：『創業155年 長寿企業における不易流行』

司 会：齋藤 孝一（名古屋商科大学大学院教授）

主 催：一般社団法人事業承継学会（中部地区）

講師プロフィール

1948年1月生 東海中学・高校から早稲田大学理工学部応用化学科へ進学し、卒業後は京都の黄桜㈱に就職。1972年に甘強酒造㈱へ入社し、1988年に41歳で代表取締役社長に就任した。就任後は、味醂を核とした顧客（板前、料理長、料理研究家など）との強固な関係作りを実現し、他社がやらない独自の営業展開を続けている。また、20年前から中国へ進出し、現地の日本食料理店への販売を行うなどグローバルな側面も持つ。蟹江町商工会会長を6年、愛知県酒造組合会長を5年間歴任し、現在は全国旧式みりん協議会 会長。



<講演要旨>

大政奉還を5年後に迎えることになる文久二年に創業以来、ひたすらに味淋造り、酒造りに取り組んでまいりました。その間時代は変わり、当社の置かれた環境は様々に変化をしましたが、時代に適応しつつも、かたくなに味淋造りを中心に商いを続け時代の荒波を潜り抜けてきました。いつの時代にも受け入れられる本物とは何かを見つめつつ、お客様の役に立つそして為になる商品造りをモットーに社業の発展に取り組んでいます。又それと同時に全世界的に拡大をしつつある和食の世界の中で当社もグローバルに様々な取り組みをおこなっています。20年前に独自のルートで中国に進出し、現地の中国人が経営する日本食料理店にも販売ルートを獲得してきました。その間に何度も社長が交代するなど、苦難を乗り越えて、現在は大手企業のOEMも手掛けています。

「長寿の秘訣」について、家系図を用いて、これまでの歴代社長の役割や時代背景、決断の一つ一つについて聞かせていただきました。

研究会参加者：35名

